

宮崎教区が義援金

「お返しごの思ひ」

宮崎教区の藤田信証教務所長と福永充証教区会議長が6月30日、本山を訪れ、教区内から寄せられた東日本大震災義援金710万6123円を、橘正信総長に手渡した。

福永議長は「こうついでいえき口蹄疫の被害や新燃しんもえ岳噴火の災害時には、本山からいち早く義援金をいた

だき本当にうれしかった。そのお返しごの思ひで教区一丸となり募金に取り組んできた。今も灰が降り続けているが、東北の被災地は大変な状況。一日も早い復興を」と話していた。同教区では、今後も募金活動を続けていく。

また、同日、人吉別院（熊本県人吉市）の義援金100万円を浦水邦英輪番が本山に届けた。